

生徒支援だより

No.16

「大麻等薬物乱用防止 特設授業」危機感を持つ

9月27日(水)に大麻等薬物乱用防止特設授業を行いました。この授業は、沖縄県中部において中学生が薬物で逮捕されたことを受け、沖縄県すべての小中学校で実施しました。

西崎中学校では、生徒支援主任より「なぜこの授業をやるのか」を確認した後、半嶺県教育長のメッセージを読み上げました。その後各学級で知っている薬物の知識を確認し、薬物乱用防止の動画を視聴しました。最後に、それぞれが気づいたこと、感じたことを共有しました。私たちのすぐそばまで薬物の危険性が迫っています。危機感を持ち、事件、事故に巻き込まれないよう絶対に関わらない強い気持ちを持ちましょう。

☆薬物乱用防止に向けて考えてほしいポイント☆

- ・薬物の使用は犯罪である
- ・依存症になってからでは遅い ⇒ 周りの家族や友達へも影響を与える
- ・別の犯罪に巻き込まれる可能性が高い



特設授業を終えての感想を紹介します!

3年4組 半嶺県教育長メッセージの中にもあったように、私たちと同じ中学生でも大麻を所持して逮捕されるなど、本当に自分は関係ないと考えるのではなく、自分事として考えないといけないなど危機感を持ちました。薬物は、私たちが知らないだけで身近にあって一度使ってしまったら、死んでしまったり人生を台無しにしてしまったりして本当に後悔すると思うから、薬物についてはもう一度深く考えないとと思いました。

2年5組 日常生活の中で薬物は身近にあるということがわかった。薬物はたくさんの種類がある、体に有害で大量に使うと場合によっては死ぬことがある、依存症になる、一度使うとやめられないというデメリットしかない。

これからも薬物には手を出さず、誘われても断る力を身に付け、もしなにかあったら大人に相談したい。

1年1組 麻薬などの薬物はどこから手に入れているのかなと思いました。「薬物は危険」「体にも精神にも害を与える」「幻覚が見えたり幻聴が聞こえてしまう」などをテレビなどで知らせているのに、なぜ薬物乱用しているのかなと思いました。そんなに興味があるのか、精神的に追い込まれてスッキリしたいのか、間違った情報なのかわからないけど、絶対人生を損するだろうなと思った。薬物には手を出さないようにする。

